

政策 05 にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり

施策 02 農業の振興



あるべき姿

農業としての作付面積や生産規模を維持し、安定経営・付加価値化で農業所得が増加します。

施策の成果状況と評価

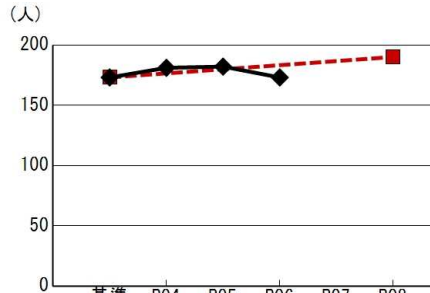


指標	遊休農地面積 (ha)		対基準値	指標値の注釈
	【農業委員会事務局】		対前年度	分析 評価
指標の動き	後期基準値	8.5	(向上)	農地中間管理事業を活用し担い手農家への利用集積を推進しているほか、農地パトロールにより遊休農地を調査し農地所有者へ指導しています。農地中間管理事業を活用する地域を増やすなど担い手農家への集積を推進すると共に、農地パトロールを継続して行い、遊休農地面積の減少に努めます。
	R04実績	11.7	(向上)	
	R05実績	10.08	(向上)	
	R06実績	8.06	(向上)	
	R07実績		目標達成度	
	R08実績		(高)	
	R08目標値	7.8		

指標	農産物収穫量 (米、麦、大豆) (t)		対基準値	指標値の注釈
	【農政課】		対前年度	分析 評価
指標の動き	後期基準値	11,236	(低下)	主食用米の需要が減少し、より需要のある小麦等への転換を推進しているため、水稻の作付面積・収穫量は減少しているものの、小麦は作付面積・収穫量は増加しています。水稻・小麦・大豆の合計作付面積の減少原因としては、農業者の高齢化等による離農や他の作物への作付転換が考えられます。
	R04実績	10,638	(低下)	
	R05実績	10,533	(低下)	
	R06実績	10,297	(低下)	
	R07実績		目標達成度	
	R08実績		(低)	
	R08目標値	12,100		




指標	花き出荷額 (千円)		対基準値	指標値の注釈
	【農政課】		対前年度	分析 評価
指標の動き	後期基準値	1,608,654	(低下)	物流に関する長時間労働は正のための時間外労働上限規制の開始に伴う輸送能力不足や燃油価格の変動、気温の上昇による生育不順が挙げられます。今後は国や県の補助等の有効活用を案内していくとともに、高付加価値の花苗等の栽培を推進するなど、出荷額の向上に繋がるよう支援していきます。
	R04実績	1,679,453	(低下)	
	R05実績	1,579,164	(低下)	
	R06実績	1,376,980	(低下)	
	R07実績		目標達成度	
	R08実績		(低)	
	R08目標値	1,895,000		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 担い手確保と農業経営継続への支援

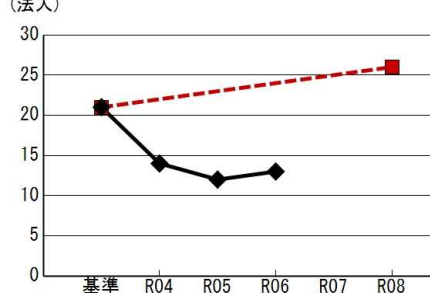
指標	認定農業者数（人）		対基準値	指標値の注釈	
指標の動き			【農政課】	☁ (横ばい)	分析 評価
	後期基準値	173	 (人)	対前年度	
	R04実績	181		 (低下)	
	R05実績	182			
	R06実績	173			
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	190			
			目標達成度  (中)		

基本事業01 担い手確保と農業経営継続への支援

指標	農業生産法人数（農地所有適格法人数）（法人）		対基準値	指標値の注釈
				
指標の動き	後期基準値	21	（低下）	分析 評価
	R04実績	14	対前年度	
	R05実績	12		
	R06実績	13	（向上）	
	R07実績		目標達成度	
	R08実績			
	R08目標値	26	（低）	

【農政課】

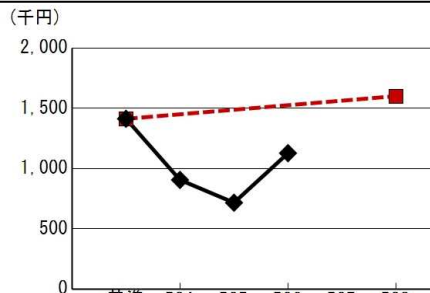
（法人）




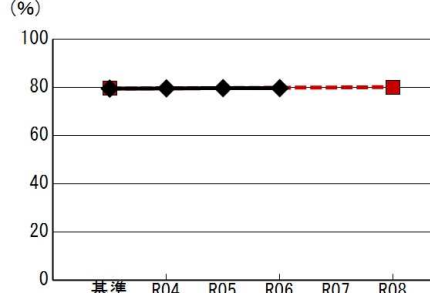


項目	値
基準	21
R04	14
R05	12
R06	13
R07	13
R08	26

R6年度は新たに認定された経営体があり増加しています。今後も安定経営のため、家族経営から法人化に向けたPR及びサポートを行うほか、農地中間管理事業の推進などを通じた担い手への農地集積を図り、農業生産法人数の増加に努めます。

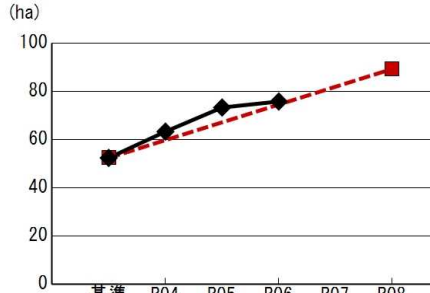
基本事業01 担い手確保と農業経営継続への支援

指標	農業法人税割額（千円）		対基準値	指標値の注釈	
			☂		
指標の動き	後期基準値	1,412	(千円)	(低下)	分析 評価
	R04実績	905		対前年度	
	R05実績	716		☀	
	R06実績	1,127		(向上)	
	R07実績			目標達成度	
	R08実績			■	
	R08目標値	1,600		(低)	

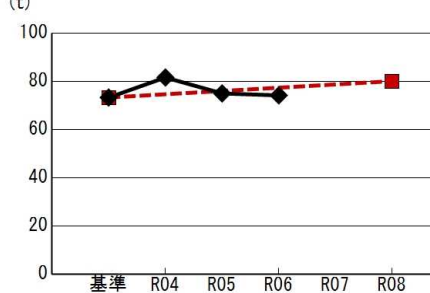
基本事業02 生産基盤の整備

指標	かんがい排水路整備率（％）		【農政課】	対基準値	指標値の注釈	
				 (向上)		
指標の動き	後期基準値	79.4	 (％)	対前年度	分析 評価	
	R04実績	79.5		 (横ばい)		現状値（79.4％）と比較して、0.2ポイント向上していますが、前年度値（79.6％）と比較すると横ばいとなっています。 施設の老朽化に伴う補修工事の要望が大半を占め、未整備の水路改修が進まず整備率上昇につながっていないことが挙げられます。
	R05実績	79.6		目標達成度  (中)		
	R06実績	79.6				
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	80.0				

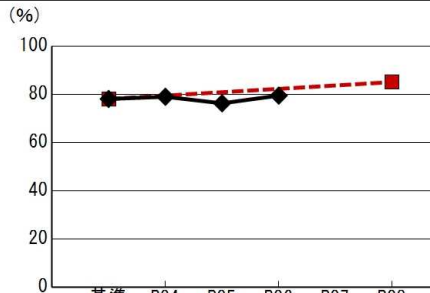
基本事業02 生産基盤の整備

指標	新たに圃場整備された面積 (基本計画期間累計)(ha)		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	52.3		(向上)	
指標の動き	R04実績	63.2		対前年度	分析 評価 現状値(52.3ha)と比較して、23.4ha増加し、前年度値(73.2ha)と比較して2.5ha増加しました。 令和6年度に鴻巣行田圃場整備事業が順調に施工されたことが挙げられます。今後も、計画通りに事業が推進出来るよう支援を行い、新たな圃場整備を推進していきます。
	R05実績	73.2		(向上)	
	R06実績	75.7		目標達成度	
	R07実績			(高)	
	R08実績				
	R08目標値	89.2			

基本事業03 地産地消の推進と競争力の強化

指標	学校給食における米の消費量(t)		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	73.2		(向上)	
指標の動き	R04実績	81.5		対前年度	分析 評価 夏の高温に加え、昨年度から越冬したイネカメムシの発生により全体的な米の収量が落ちたことが要因と考えられます。特にこのとり伝説米の使用量が減っており、昨年度の収量不足が年度前半の米消費量低下に影響しています。
	R05実績	74.9		(低下)	
	R06実績	74.1		目標達成度	
	R07実績			(中)	
	R08実績				
	R08目標値	80.0			

基本事業03 地産地消の推進と競争力の強化

指標	鴻巣市産の農産物や花を、市内店舗や直売所で購入している市民の割合(%)		【農政課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	78.0		(向上)	
指標の動き	R04実績	78.9		対前年度	分析 評価 食の安心・安全に対する消費者の意識は高く、地元で生産された農産物が好まれている傾向がありますが、市内産農産物を購入できる直売所や販売スペースが少ないことが挙げられます。
	R05実績	76.2		(向上)	
	R06実績	79.4		目標達成度	
	R07実績			(中)	
	R08実績				
	R08目標値	85.0			